# 福　井　県　教　員　育　成　指　標

## 福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために
挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、
いつどこにいても社会や地域に貢献する人

## 福 井 が 求 め る 教 師 像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的技能
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、
自立した社会人としての良識や
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

| ステージ ／ 資質・能力 | | 福井県が求める採用時の姿 | 第1ステージ<br>教員としての基盤を固める | 第2ステージ<br>中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する | 第3ステージ<br>経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする |
|---|---|---|---|---|---|
| 素養 | 教育的愛情<br>使命感 | ・子どもに対する愛情<br>・教職への情熱 | ・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 | | |
| | | | ・教職に対する使命感、誇り、責任感 | ・学校教育を牽引する使命感、責任感 | ・組織的な運営を行う使命感、責任感<br>・学校経営に積極的に参画する責任感 |
| | 倫理観<br>人間性<br>社会性 | ・高い人権意識<br>・豊かな人間性、広い視野<br>・社会人としての一般常識 | ・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観<br>・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築（子ども、教職員、家庭、地域社会　など）<br>・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行<br>・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画 | | |
| | コミュニケーション力 | ・他者との意思の疎通と協働 | ・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進<br>・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通 | | |
| | 学び続ける力<br>探究心 | ・学びの専門家としての学び続ける意欲<br>・多様な社会体験への挑戦 | ・自ら学び続ける基盤の構築（課題の発見-解決の努力-省察する力）<br>・自主的な協働研究への積極的な参画 | ・専門性の深化とキャリアアップ<br>・学校内や専門分野における研究の牽引<br>・若手教員の指導への積極的な関わり | ・自らの実践の深化と改善<br>・学校内や専門分野の組織的な研究の運営<br>・教職員の資質・能力を高める指導、助言 |
| 指導力 学習指導 | 教科等の専門性 | ・教科等を学ぶ意義の理解<br>・教科等で培う力の把握 | ・教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上<br>・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進<br>・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進<br>・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進<br>・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究 | | |
| | 授業力 | ・教科等の基礎的な授業力<br>・主体的・対話的で深い学びへの理解<br>・探究的な学びの計画、立案 | ・教科等の特性や本質の理解<br>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業<br>・多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びへの工夫<br>・協働的な学びへの工夫<br>・主体的・対話的で深い学びへの工夫<br>・指導と評価の一体化に基づく実践<br>・子どもの学びの見取りの意義と実践<br>・ICT機器の積極的な活用やプログラミングに関する学習活動の工夫<br>・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施 | ・省察をもとにした授業改善<br>・教科等の特性や本質の追究<br>・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びの実現<br>・協働的な学びの実現<br>・主体的・対話的で深い学びの実現<br>・ICT機器の活用の牽引<br>・教科等横断的なカリキュラムデザイン<br>・校内研究の中核として授業実践を牽引<br>・若手教員への授業力を高める指導、助言 | ・広い視野での授業改善<br>・教科等の特性や本質を理解した実践<br>・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びの深化<br>・協働的な学びの深化<br>・資質・能力を培う授業の提案<br>・主体的・対話的で深い学びの深化<br>・学校全体の授業力向上に係る企画<br>・学校内の中心で示範となる授業実践の推進<br>・学校全体でのICT機器活用の推進<br>・校内研究の中心として組織を運営<br>・学校内外の教職員への指導、助言 |
| | 福井の教育力を支える研究・連携 | ・福井の教育の特長の理解<br>・「ふるさと福井」を大切に思う心 | ・子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築<br>・縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築<br>・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進<br>・研修や自主研究会への主体的な参画<br>・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承 | | |
| 指導力 生徒指導 | 幼児・児童・生徒理解 | ・子どもの理解の重要性の認識<br>・子どもの発達段階への理解<br>・一人一人に向き合う意識 | ・子どもの個性、特性の理解<br>・インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践 | ・学級および学年全体の子どもの理解<br>・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応 | ・組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解<br>・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営 |
| | 問題行動への対応 | ・個や集団への指導と手立ての理解<br>・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴<br>・多様な子どもに対する寛容の心と態度 | ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援<br>・子どもの特性を理解した原因分析力<br>・学校の生徒指導の方針に対する理解<br>・報告・連絡・相談を通したチームで対応する指導の実践<br>・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働 | ・チームの中核として子どもへの適切な指導<br>・子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引<br>・若手教員に対する適切な指導、支援<br>・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働 | ・チームの責任者として教職員に対する指導、助言<br>・子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案<br>・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整<br>・速やかな情報の共有と適切な管理<br>・家庭や地域、関係機関との連携・協働 |
| | 特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応 | ・特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識<br>・発達障がいに対する知識、理解 | ・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践<br>・合理的配慮に対する理解、実践 | ・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引<br>・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進 | ・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言<br>・関係機関と協働した課題の改善、解決 |
| マネジメント・人材育成 | 業務改善（働き方改革に向けて） | ・効率的な時間管理に対する意識 | ・自己の勤務時間の管理<br>・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫<br>・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進 | ・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫<br>・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践 | ・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言<br>・学校教育活動全体の精査と精選の具体的提案と組織的な実践 |
| | 学年経営<br>学級経営 | ・理想とする学級像の形成 | ・子ども達が安心してすごせる学級経営<br>・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践<br>・報告・連絡・相談による教職員間の協働 | ・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引<br>・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引<br>・カリキュラムマネジメントを意識した協働的活動の牽引<br>・若手教員の抱える課題の理解、支援 | ・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画<br>・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営<br>・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営<br>・協働するネットワークの構築と指導、助言 |
| | 社会の変化への対応 | ・学校現場の現状の理解<br>・社会情勢（国際感覚・多様性）に対する理解 | ・学校の実態、Society5.0 等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解 | ・学校の実態、Society5.0 等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践 | ・学校の実態、Society5.0 等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的実践 |
| | 学校安全<br>危機管理 | ・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解 | ・学級や集団の適切な安全管理<br>・勤務校の危機管理体制に対する理解 | ・チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処<br>・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底 | ・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント<br>・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員への指導、助言 |
| | 人材育成 | ・様々な課題に対応する力 | ・学校内外の研修や自主研究への参画 | ・若手教員に対する指導、助言 | ・校内研修、自主研究の企画、運営 |
| 連携・協働 | 組織における協働 | ・仲間と協働して、創造する経験<br>・協働の良さを子どもに発信する力 | ・教職員間の同僚性の構築<br>・チームで対応することへの理解と実践 | ・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動<br>・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上 | ・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築 |
| | 家庭や地域社会との連携 | ・地域社会に貢献する経験<br>・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解 | ・家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成<br>・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 | | |
| 福井力 | 「ふるさと福井」の教育 | ・「ふるさと福井」への理解<br>・福井の教育をよりよくしていく心と態度 | ・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力（「ふくい愛」）の向上<br>・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践（「ふるさと福井の先人 100 人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」 など） | | |

| ステージ ／ 資質・能力 | | 管理職<br>トップリーダーとして教育活動を推進する |
|---|---|---|
| 素養 | 教育的愛情<br>使命感<br>責任感 | ・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚<br>・よりよい学校教育の実現に向けた努力 |
| | 倫理観<br>人間性<br>社会性 | ・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成<br>・子どもや教職員の示範となる言動<br>・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築 |
| | 判断力<br>学び続ける力<br>探究心 | ・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長<br>・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力<br>・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握 |
| | 創造的に思考する力<br>コミュニケーション力 | ・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力<br>・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築 |
| 学校経営者としての専門性（経営・組織マネジメント） | 業務改善（働き方改革に向けて） | ・教職員の勤務時間の把握<br>・勤務時間を意識した教職員の働き方の徹底と職場環境の構築<br>・教職員の業務の明確化と外部人材活用、外部業務委託の推進<br>・PTAや地域の理解を得るための取組 |
| | 組織マネジメント | ・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示<br>・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力<br>・スクールプランを実現する具体的な方策の決定<br>・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり<br>・一人一人の教職員が意欲を持って活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営<br>・福井型コミュニティ・スクールによる地域と連携した学校づくり<br>・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり<br>・GIGAスクール構想の実現に向けたリーダーシップの発揮<br>・特別支援教育のコーディネート力の向上と組織的なインクルーシブ教育の推進 |
| | 教職員理解<br>人材育成 | ・教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理<br>・目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通した教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導<br>・教職員の持ち味や新しいアイディア等の学校運営への活用<br>・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成 |
| | 学校安全<br>危機管理 | ・安全な環境での教育活動の展開<br>・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応<br>・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底<br>・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整<br>・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備 |
| | 財務管理 | ・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理 |
| | 家庭や地域社会との連携・折衝 | ・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約<br>・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用<br>・地域の教育資源の積極的な活用 |